


【島のくらしの情報】

八丈島

<p>① 仕事(収入)の状況</p>	<p>現在、八丈町で募集している職種は、八丈町HPに掲載しています。 民間の求人案件については、「八丈町おしごと掲示板(web)」にて情報発信をおこなっております。 「全国移住ナビ」の八丈町ページよりご覧ください。詳細につきましては各事業所にお問い合わせください。 就職・求人情報は地元紙「南海タイムス」や、数は少ないですがインターネットの求人サイトに紹介されていることもあります。 夏期の繁忙期限定の求人や、リゾートバイトの募集もありますが、直接希望する職種や事業者にお問い合わせしてみると 案外見つかることがよくあります。ぜひ根気よく探してみてください。</p> <p>八丈町役場では、町立の保育園で働く保育士を募集しています ●お問い合わせ: 八丈町役場総務課 電話04996-2-1121 ホームページ: http://www.town.hachijo.tokyo.jp</p> <p>町立八丈病院では、島で働く助産師を募集しています ●お問い合わせ: 町立八丈病院 電話04996-2-1188</p> <p>民間の求人募集掲載「南海タイムス紙」 ●お問い合わせ: 南海タイムス社 電話04996-2-3456</p> 
<p>② 住居の状況 (貸家、空き家など)</p>	<p>【町営住宅】 戸数: 433戸(平成27年4月) 八丈町には町営住宅が整備されており、奇数月の前半に、空きが出ている物件を、八丈町広報にて募集しています。 入居の応募には八丈町にお住まい、または転入見込の成年者が対象となり、世帯構成、収入、現況等の審査があります。 家賃は、場所、収入によって変わりますが、大体、1万5,000円～5万5,000円です。 ●お問い合わせ: 八丈町建設課管財係 電話04996-2-1124</p> <p>【民間住宅】 民間のアパートや、空家などは、不動産業者だけでなく個人所有のものも多いので、所有者の方との直接のやり取りとなる場合があります。 民間の賃貸情報は地元紙(南海タイムス社 TEL04996-2-3456)に掲載されていることがあります。 購読申込等は、直接地元新聞社へお問い合わせ願います。 民間のアパート家賃の相場は、3～7万円ぐらいです。</p>

<p>③ 医療環境の状況</p>	<p>町立八丈病院(54床) 東京の医療圏(伊豆諸島・小笠原諸島)唯一の病院です。 一般診療科:内科、外科、小児科、産婦人科 臨時診療科:耳鼻咽喉科、精神神経科、整形外科、内分泌内科、皮膚科、糖尿病内科、 腎臓内科、消化器内科、神経内科、眼科、循環器内科、泌尿器科 休日、夜間の救急外来の受け入れもしており、島内で対応できない急患は島外の病院と連携して、ヘリコプターによる救急搬送を行っています。 島外の病院に受診が必要な場合、負担軽減のため、交通費の助成を行っています。 妊産婦は、島内で検診・出産ができます。 八丈町にお住まいで、子どもを出産した方には出産祝い金50,000円が町長自ら訪問し、支給されます。</p> <p>●お問い合わせ:町立八丈病院 電話04996-2-1188</p>	
<p>④ 福祉環境の状況</p>	<p>【高齢者福祉】 老人福祉施設が1ヶ所あり、養護老人ホーム、特別養護老人ホームの入所系サービスや、デイサービスや高齢者在宅サービス、短期入所サービスの通所系サービスを提供しています。</p> <p>【障害者福祉】 障害者の通所施設として、心身障害者(児)の通所訓練施設と、精神障害者の共同作業所があります。</p>	
<p>⑤ 教育環境の状況</p>	<p>【保育園】 島内に4園(坂上地域1園、坂下地域3園) 定員:442人 実員:217人 職員数:33人(保育士27人、調理員6人) (平成27年4月)</p> <p>【小学校】 島内に3校(坂上地域1校、坂下地域2校) 児童数:374人 教員数:45人(平成27年5月)</p> <p>【中学校】 島内に3校(坂上地域1校、坂下地域2校) 児童数:178人 教員数:46人(平成27年5月)</p> <p>【高等学校】 都立八丈高等学校 生徒数:全日制157人 定時制8人 教職員数:59人(平成27年5月) 普通科の他に園芸科と家政科があります。 都立八丈高校では新しい試みとして、「島留学」「定時制への島外から受入れ」を平成29年度より開始します。 島の高校生の多くは卒業と同時に進学・就職のために島を離れます。</p> <p>●お問い合わせ:八丈町教育課 電話04996-2-7071</p>	

<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>【上下水道】 島内の水道給水普及率は、ほぼ100%です。 し尿・生活排水は浄化槽、汲み取り槽による処理を行っています。 し尿や浄化槽に蓄積される汚泥等は、排出量に応じて一般廃棄物処理手数料を頂いて回収をしています。 町では、し尿と生活排水を処理する合併処理浄化槽の普及促進を図っており、設置費用の補助を行っています。</p> <p>【ガス】 ガスはプロパンです。</p> <p>【電気】 島内にある内燃力(火力)発電所を利用し、島外からの電力供給はありません。 全国離島初の地熱発電所があり、火山島の特性を活かした再生可能エネルギーで電力量全体の約22%を利用しています。</p>
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】 大型客船 東京・竹芝棧橋から毎日出航(最寄駅JR浜松町駅から徒歩約7分) 夜東京発、三宅島、御蔵島経由、翌朝八丈島着 大型客船:片道11時間(1日1便)・大人7,820円(2等)～</p> <p>【空路】飛行機 東京・羽田空港から毎日3便(ANA) 飛行機:片道55分(1日3便)・大人15,190円(往復運賃:片道分)</p>

<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】バス 八丈町役場を中心に、坂上地域と坂下地域を結ぶ路線が1日6往復 空港と町役場を結ぶ循環路線が1日6便 運行時間:路線によって異なるが、旧町役場の発着が7:38～17:25 料金:初乗り130円から最高で600円まで 町営バスHPで路線図・時刻表・料金表が確認できます。</p> <p>【島内交通】タクシー 営業時間が長く、台数も多いので、空港からの移動、観光案内、飲食店への往復など気軽に利用できます。 料金:初乗りは660円(中型)から ・基本的には流しや、客待ちのタクシーはありません(空港、港にはタクシー乗り場があり、発着時には客待ちもしています) ・宿泊施設、飲食店などからの利用は、店に頼めば呼んでくれます。 ・観光タクシー(1時間5,000円～)、ジャンボタクシーや福祉タクシーもあります。</p> <p>【島内交通】レンタカー 自由に島巡りを楽しむには、レンタカーが断然お勧めです。 島内には多数のレンタカー会社があり、軽自動車からワゴン車まで扱っています。 風力発電で充電したエコエネルギーを使用した、電気自動車のレンタルもあります。</p> <p>【島内交通】レンタサイクル 島内は起伏がかなりありますので、電動アシスト自転車がおすすめです。 風力発電で充電したエコエネルギーを使用した、電動アシスト自転車「島チャリ」のレンタルもあります。</p>
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 スーパー・商店など約30軒 レストラン・食堂・居酒屋は多数あります。 コンビニはありませんが、100円均一があります。 店舗の多くは坂下地域にあります。</p> <p>【物価例】 2015年10月1日の参考価格 ガソリン(1L)約181円、灯油(1L)約121円</p> <p>内地と比べますと、物資の輸送などに費用がかかるため、物価は若干高い印象を受けます。 野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいます。近所の方と仲良くなると、旬の野菜や魚などを頂くこともよくあります。 金融機関は七島信用金庫とみずほ銀行、ゆうちょ銀行があります。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>現在、八丈町に移住してこられる方に向けた仕事の斡旋や、経済的な補助などといった支援制度はありません。 八丈町企画財政課では移住・定住促進のため「移住・定住相談窓口」を設置し、Iターン職員による実体験を基とした移住相談等を行っています。 移住実績としては、島内で新規事業を始めるIターン者や、在宅ワークの移住者もおり、少しずつ増えてきています。</p>

<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>今のところ滞在に関する直接的な支援は、八丈町では行っていません。 短期での滞在はできませんが、入居を希望する方には町営住宅の下見(内覧)を行っています。 集合住宅から一軒家まで、様々なタイプの住宅をご用意しています。</p> <p>●お問い合わせ:八丈町建設課管財係 電話04996-2-1124</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>現在八丈町では、年々進行する人口減少に歯止めをかける為に定住移住に関する施策の策定を行いました。 インフラが充実していて、飛行機があり、総合病院を有する八丈島は、移住者にとってもとても魅力的であると考えています。 現状では支援制度はまだありませんが、移住経験者による島暮らし相談会や移住定住に関するPRも積極的に行っております。</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>植物が多いので、昆虫がたくさんいます。不快害虫(ヤンバルトサカヤステ、シロアリ、サソリモドキ等)の対応が必要です。 雨が多く、洗濯物が乾きにくい事が多いので、湿気・カビ対策が必要です。 基本的に島内の移動は、車の使用が多いです。1世帯あたりの自動車保有台数は1.86台です。(平成27年4月1日) 島内には文科系、体育系のサークルやクラブ、イベントがたくさんありますので、参加をすると知り合いが出来やすいです。 地域によっても異なりますが、人との付き合いが密接です。 日常のあいさつや、地区の清掃、イベントなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。 島の言葉に慣れないうちは、年配の方が何を話しているのかわからない事もあると思いますが、多少慣れてくると、内容も理解でき、表現も楽しいものに聞こえてくるようになってくると思います。 八丈島の言葉はユネスコの消滅危機言語にも挙げられており、八丈町では言語を守り、継承する取組みを行っています。 島内の電力は、火力発電が約77.6%、地熱発電が約22.4%とすべてを島内で賅っています。 テレビは東京都内とほぼ同じ放送局、NHKと民放テレビが見ることができ、ラジオはNHKと東京FMを聞くことができます。</p>